

志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ 「イマジン ロータリー」
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀 「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎 「新たな一歩」

第2344回 移動例会 2022-8-3

RI 第2570地区 村田貴紀 ガバナー 公式訪問

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 榎本 秀夫 副SAA
- ◎四つのテスト 榎本 秀夫 副SAA
- ◎ゲスト

第2570地区ガバナー 村田 貴紀様
 // 第2Gガバナー補佐 山崎 一吉様
 // 地区幹事 日向 秀一様

「会長挨拶」

会長 小林八郎



本日は、ご多忙の中、村田ガバナーにお越しいただき、誠にありがとうございます。今年度のクラブ活動について、ご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

さて、今年度のRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏は、「イマジン ロータリー／Imagine Rotary」をテーマとされ、また本日、おいでいただきました、村田ガバナーは、地区スローガンを「地域と世界でつながる力を磨き 奉仕を实践しよう」とされました。さらには、

「想像をしてください。クラブの5年後、10年後もしくは15年後…、クラブ会員は増えていますか？ 時代に即した魅力あるクラブになっているでしょうか？」と村田ガバナーは問いかけています。

これは、地域の他団体とのつながりを高め、



知り合いを広めることにより奉仕の機会とすることの実践が、我々に期待されていると私は考えています。

クラブの5年後、10年後のために今こそ力を磨き、行動していかなければならない、ということに共感するところであります。そこで、私の会長テーマを「新たな一歩」といたしましたので、改めて説明をさせていただきます。

結論から先に申し上げますと、志木ロータリーの近未来につながる新たな一歩を考える一年とし、今年度の柱としたい取り組みは、「親睦と増強」としました。

さて、地球温暖化の影響でしょうか、気象変動が激しく、各地でゲリラ豪雨などが多発しています。また、新型コロナウイルスの感染者が急激に増加し、一日で20万人を超え、世界で最も多いといった状況になってきています。

日本国内では先週は12人に1人でしたが、今では10人に1人が、新型コロナに感染したことになります。今年に入ってから、第6波、第7波で感染のスピードが恐ろしく速い状況です。今後の行事やイベント等の開催ができるのかと危惧されるどころです。

しかしながら、経済活動はもちろん、ロータリー活動を止めて私たちの思考もストップさせることは、より良き未来につながりません。引き続き、会員それぞれが感染症に注意され、県や市の感染症対策の動向も注視しながら、無理のない、できる限りの活動をお願い申し上げます。

さて、村田ガバナーの問いかけでもあります「5年後、10年後のクラブの姿を想像する」にあたり、ロータリー会員数の推移を改めて見てみました。

2570地区で約10年前の2011年度が1733人、2022年の現在では、1585人となり、約10年で148人、8.5%の減少です。

志木クラブでは、10年前が49人、現在は41人となってしまい、約16%の減少です。減少率を地区と比較すると、2倍近くになっているのが現状です。

さらに、1年間の平均新規加入数を確認してみたところ、20年前までは年間平均で約3.4人が加入していましたが、直近の20年間でみると、1.7人、1.6人と新規加入数が約6割減少している状況が分かり、由々しき事態だと思われまます。

そうした会員減少の傾向、とりわけ1年あたりの新会員加入数が極めて減少している状況から新たな光明を見つけ、その光明に向かって踏み出せるよう、親睦プラス増強、新たな一歩とは何かを考える一年にしたいと思えます。

先週、ここで開催されましたクラブ協議会でも、委員長各位よりとても積極的な方針などが示されました。会員増強・R情報の大村委員長からは『人材は力なり』とされ、会員純増3名に向け、新会員のフォローアップなど具体的な行動計画が発表されました。また、職業分類・会員選考の坂間委員長から、「川と街の清掃、希望の風の事業を継続し、魅力あるクラブにしていく」という考えが示されました。さらには、公共イメージの古田委員長、雑誌委員会の金剛委員長、クラブ会報委員会の上野委員長、プログラム委員会の國分委員長、出席向上委員会の内田委員長、親睦の影山副委員長の皆様からも、「親睦と増強」につながるような情報発信、例会の開催など、さまざまな協議をいただきました。誠にありがとうございます。

私の「クラブの未来に向けたビジョン」については、「ガバナーを輩出したい」と申し上げました。楽しく活気がある故西川ガバナー時代のようなクラブを目指していければと考えています。

そのために、具体的な行動は3つです。

まず一つ目は、会員同士のふれあい促進のきっかけづくりのためにも、老・壮・青のつながり強化のためにも、感染症に注意しながら親睦活動を強化し、そのための「炉辺活動」を活発化していただきたい。十杯のお茶より1杯の酒と聞きます。感染症に注意しながら、地域の飲食店の応援も図り、コミュニケーションを活性化してください。

二つ目は、会員増強の見直しです。推薦人の想いを尊重しながら、広い視野、広い心も持って、対象を広げ、正会員の増強を図っていかねばなりません。女性会員も大歓迎です。さらに、対象者の裾野を広げ、社会奉仕活動などについて、新たな考え方、アイデアを取り入れるため、賛助会員の制度づくりも考えていく必要があるのではないのでしょうか？ 賛助会員から正会員へといった道筋も検討できるのではないかと考えています。

そして、三つ目は、新型コロナによって、会員の顔が見られない、話を聞けることが極端に減った現状であることから、例会時に「会員フリースピーチ」をお願いしたいと思います。輪番制でテーマは自由、3分から5分程度の会員スピーチにより、メンバー各位の元気な「顔と言葉」をくださいますよう、ご協力をお願いします。

以上、3つの取り組みへのご協力を改めてお願いいたします。

さて、今年の5月、81歳で他界されました、国鉄の分割民営化に尽力された JR 東海名誉会長の葛西敬之（かさいよしゆき）さんは生前、「毎日、20年後、あるいは50年後の尺度で物事を考えている。想像力と創造力、つまり、イマジンのほうの想像力と、クリエイトのほうの創造力、を持って自分で課題を設定し、目標に向かって行動する」と話していたそうです。

私達も次世代につなげる希望ある未来へ向けて、より楽しく、活気あふれるクラブにしていくことを目標としたいと思います。

結びに、今年度テーマ「新たな一歩」を共に考え、「親睦と増強」のために共に行動をしていただけますよう、ご協力をお願い申し上げます、会長の挨拶といたします。

「幹事報告」

幹事 國分 学

1. 地区事務所より・会員増強・新クラブ結成推進月間リソース案内受信
2. 朝霞地区暴力排除推進協議会より令和4年朝霞地区暴力排除推進協議会役員会及び総会開催案内受信

「今月の誕生日祝」

SAA 田中幸彦



- 1日 上野剛彦会員 8日 田中幸彦会員
22日 西川和人会員

「卓話」

「ガバナー公式訪問卓話」

第2570地区ガバナー

村田貴紀様(2570 パスポートRC)



本日は公式訪問例会となります。公式訪問にあたり会長幹事様を始め会員皆様のご協力によりこのような公式訪問の場を設営して頂きましたことこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

志木ロータリークラブの皆様におかれましては、今日までの永きにわたり、「奉仕の理想」のもと国際交流や青少年の育成など奉仕活動を通して地域の「質」を高めていただいております、歴代会長をはじめ会員の皆様方のご尽力に、心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

今年度の国際ロータリーテーマ 「イマジンロータリー」

第2570地区 第2グループ各RC 例会日・会場・事務局一覧（順不同）

■朝霞RC 毎週(火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店
■新座こぶしRC 第1第3(水) 12:30~13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770
事務局 090-1551-8380

2344-3◇
志木RC会報

今年度国際ロータリー会長であるジェニファー・ジョーンズ氏。カナダのオンタリオ州にありますウィンザーローズランドRCの会員でございます。

メディアストリート創業者兼社長であり、ウィンザー大学の理事長など様々な職歴をお持ちの方でございます。

「過去は想像できません。未来を想像してくださいと申しております。」

国際協議会にて研修を受け、国際ロータリーの年次目標達成に向けて地区スローガンを「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう」といたしました。

一人一人が、いかに明るい未来を想像し奉仕をすることかと思えます。

志木ロータリークラブ。例会出席 20 年以上の方が 6 名もいらっしゃいます。21 年連続内田栄信様、24 年連続清水和之様、山村昭康様、29 年連続宮原克平様、38 年連続清水良介様、50 年連続尾崎征男様。50 年連続とは創立されてから全例会出席には心より敬意を表したいと思います。連続継続も体調不良など鑑みても志木ロータリークラブ会員様は皆 100%出席といえるとも思えます。

さらに小諸ロータリークラブ様と 48 年に渡る姉妹クラブであることやクラブの出席率が昨年度 88.73%など特筆すべき事がたくさんございます。公式訪問時も含めましてご紹介したいと思います。西武文理高校 I A C との活動時にはお声を掛けて頂けたら幸いです。

ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすことをロータリー会員に求めています。

「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、会員

が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描いています。「イマジン ロータリー」のテーマを推し進めるため、「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) へのコミットメントの強化」「みんなを温かく受け入れるクラブづくり」「女児のエンパワメント」「参加者基盤の拡大」の四つの会長イニシアチブに注力します。

では何をどのようにすればとの疑問が生じます。

知り合いを広めることにより奉仕の機会とすること。がロータリーの目的の 1 項にございます。

ロータリーは親睦と奉仕であります。この一文を読みましても繋がってることが分かるかと思えます。

日本のロータリアンは、これをクラブにおける親睦活動と混同、誤解して、本来の意味を理解していない方が大多数のように思います。ロータリーの基盤は親睦(Fellowship)と奉仕(Service)にあって両者を結びつけるのが寛容(Tolerance)だと創設者ポール・ハリスが語っています。両者は両輪として直進し、最初の動力伝達は親睦からとの言葉も残しております。

親睦は意義あるロータリー活動の原動力であることを認識し、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、広く世界に友情と親交の輪を広げるための全ロータリアン対象のロータリー親睦活動があることを衆知されたく思います。

ロータリー親睦活動は RI の国際奉仕部門における常設プログラムです。国際奉仕というと、ともすれば従来の世界社会奉仕(WCS)に代表される人道的ボランティア活動であるかのように思われる傾向があります。しかしながら、国際奉仕はロータリーの目的第 4 項の表現を借りれば、「奉仕の理念で結ばれた職

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

◇2344-4
志木 RC 会報

■和光RC

毎週(月) 12:30~13:30 郵便事業(株)和光支店3F

事務局 048-465-0088

■朝霞キャロットRC

第2第4(月) 19:00~20:00 スマイルホテル 3階ホール

事務局 048-470-6811

業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあるように、ロータリー親睦活動はその一環であります。

親睦はロータリーの雰囲気の中ですます深まる。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。

(ポール・ハリス)

私たちは皆、違う道を歩んでロータリーの一員となりました。父親がロータリアンだったから入会した人もいます。例会に出席するようにと雇用主に頼まれたために入会した人もいます。米国最高裁判所の判決によって入会が可能になったから入会した人もいます。それでも、全員に共通する入会理由がひとつあります。招待されたから、です。

私たちの想像力を解きはなち、どんなことでも可能であることを教えてくれる招待状。私たち一人ひとりが、この招待状を誰かに贈ることができるのです。

地域社会全体を見渡し、将来のリーダーを見つけるのだと思うと心が畏敬の念にふるえます。そういうとき、自分と似ている人を誘おうと思ってしまいがちなもの。一見まったく違うように思える人びとも私たちの価値観を共有していて、同じ才能を発揮することができるのだと思いたるのには特別な才覚が必要ですから。

ロータリーは、組織全体の多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)を推進するために、今こそ次の一步を踏み出すべきです。皆が自分もロータリーの一員であると感じられるような体験を大切にすることは、単に会員層を多様化するだけの話ではありません。例会やイベントを腹を割ったオープンな話し合いの場にし、会員たちが自分は求められていると感じられて安心できる場所にしなければなりません。そのためには、入会の障壁

を取り除き、インクルージョンのために扉を開かなくてはなりません。私たちの価値観は今後もロータリーの強みでありつづけます。それに、卓越性が求められるロータリーでは会員の高い基準を維持する必要があります。

全員がロータリー全体で DEI を推進することを心に誓い、尽力していると私は信じています。これはロータリーの最も深い伝統に根ざしており、これから数十年にわたってロータリーが活気にあふれた重要な団体でありつづける未来を保証してくれるものです。

数年前、ロータリー理事会は 2023 年までに女性会員の割合を 30%にするという野心的な目標を設定しました。もうあと 1 年もありませんが、この目標を達成し、超えることができると私は信じています。

みんなを温かく迎え入れるクラブ体験をイマジンする：心地よさと配慮

クラブの環境と体験がすべての会員と参加者にとって歓迎的で、インクルーシブで、楽しいものであるようにすることが大切です。調査によって分かっていることは、会員にとっての「心地よさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最大の要因であり、会員を維持するための最善の手段であるということです。これは、会員と参加者がロータリーとの関わりから何を求めているかについて耳を傾け、理解することから始まります。なぜ退会者が出るのかをより良く理解するために退会者アンケートを行うことも重要ですが、退会するまで待つ必要はありません。

【2022-2023 年度 地区強調事項】

1. 「適応と改革を推進」

革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブ新設や変化をしましょう。

国際ロータリーより会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要と言われております。変化を受け入れ

例会は変更になる場合があります。ご確認ください

■新座RC 毎週(木) 12:30~13:30 ベルセゾン
■富士見RC 毎週(金) 12:30~13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041
事務局 049-251-6596

2344-5◇
志木 RC 会報

ることは、新しいクラブのモデルを受け入れること、と語るジョーンズ氏は、次年度に革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立することを次期ガバナーに求めました。既存クラブも時代に即して変化しましょう。

「クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるように、会員が積極的に参加できるようにしましょう」

2. 「デジタル化の促進」

ロータリー活動が止まることないようハイブリッドを導入しましょう。

このコロナ禍により必要に迫られた状況下においてオンライン活用が採用されております。しかしながら時代のオンライン化の波も来ております。オンラインでの研修や会議なども良いところ悪いところを合わせ持っておりますが、全国や世界とオンラインにて「つながる」ことにより「奉仕への機会創出」になっている部分もございます。やはりオンラインでは充足できないリアルの良さも十二分にございます。リアルとオンラインを併用して頂き有事の際にも適応できることが重要です。

「ロータリー活動が止まることないようにしましょう」

3. 「国際ロータリーで推進しロータリー財団で達成を目指す」

地区補助金・グローバル補助金を活用し地域や世界とつながりましょう。

ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。国際ロータリーとロータリー財団は両輪とも言われております。使命にもございますが、国際ロータリーで推進をし、ロータリー財団で達成または構築することを意識して頂き、奉仕の実践へ繋げて頂けたらと思います。

「地域や世界を変える行動人であることを意

識しよう」

4. 「DEI (多様性・公平さ・インクルージョン)を推進」

さまざまな障壁を取り除きましょう。(インクルージョンは会員増強のカギ)

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動するというビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブな文化を培うことが不可欠であります。次年度 DEI の推進が最重点項目となっております。DEI の推進をお願い致します。

「全てを受け入れる体制を強化しよう」

5. 「行動規範の徹底」

ハラスメントをなくしましょう。影口・悪口・誹謗中傷はなくしましょう。

ロータリアンの行動規範と DEI の行動規範がございます。公式名簿の裏表紙にも長きに渡り記載されていた奉仕の理念(理想)がございます。「思いやる気持ちを持ち人のために尽くす」とあります。特にロータリアンの行動規範第4項・5項に注視して頂きたいと思っております。

「改めてハラスメントのない地区を目指しましょう」

想像をしてください。クラブの5年後、10年後もしくは15年後…、クラブ会員は増えていますか?時代に即した魅力あるクラブになっているのでしょうか?

そのために、クラブは戦略計画を、そして未来計画を立ててください。

地域内にある他団体ともつながり、奉仕を実践してください。人道的支援活動を実践するためにロータリー財団の地区補助金を是非活用し、地域社会さらには世界とのつながりを持ち、ロータリーの目的でもある「知り合いを広めることにより奉仕の機会とすること」を実践しましょう。

共に RI 年次目標達成のために、力を合わ

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です

せましよう。

志木ロータリークラブ小林会長のクラブテーマは「新たな一歩」を掲げておられます。

RI会長も「ロータリーは、組織全体の多様性・公平さ・インクルージョンを推進するために、今こそ次の一歩を踏み出すべきです」と申しております。

この言葉を最後に致しまして公式訪問卓話を終わらせて頂きます。

1年間宜しくお願い致します。

※紙面の都合上要旨掲載させて頂きました



●出席報告 出席向上委員長 内田栄信

会員数41名 出席義務者38名 免除者 3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
38名	1名	97.43%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(3名中1名)	90.00%	93.31%



志木ロータリークラブ 会長/小林八郎 副会長/三上隆俊 幹事/吉原 正

◇2344-8

会報委員会 委員長/上野剛彦 副委員長/塩野 章 委員/林 康雄 西川和人 深澤好文